



平成20年度夢膨らむ入学式

4月9日(水)、平成20年度の入学式を挙行し、西脇英雅校長から、401名の入学が許可されました。晴れて和工生となり、高校生活の第一歩のスタートです。学校長式辞で、校長先生が、「和工は、歴史と伝統のある学校です。和工生として、勉強とスポーツに自信と誇りをもって頑張りなさい。また、心やさしい、人に役立つ技術者になってほしい。」と、エピソードを交えながら、お話しされました。新入生

代表の建築科の瀬川紗紀さんが、「勉強やクラブ活動に一生懸命取り組み、栄光ある和工生の一員としての自覚を持ち、充実した高校生活を送ります。」と宣誓しました。成長したわが子に涙する母親や、緊張の中にも真剣に話を聞こうとする生徒の姿が印象的でした。

式後、それぞれ新担任からHR教室で、提出書類等の説明を受けました。



チューリップ リレー

工業立国日本の原点にある「ものづくり」における技術力・創造力が見直されてきている現在、工業教育に課せられた役割は極めて重要です。これに応えるために本校は、県立高等学校再編整備計画による学科改編を行うとともに校舎改築を進めているところであります。そのなかで、校内数



カ所に卒業生の植えた約3000本のチューリップが新入生を暖かく迎えました。



時代や社会のニーズを踏まえ、「人と自然に優しい工業人としての思い」を新入生にバトンがリレーされました。

本校の「ツタ」甲子園へ！

本校で2000年の夏から育てていた甲子園のツタの苗が甲子園球場に里帰りすることになりました。

阪神甲子園球場の全面的なリニューアル工事が実施され、これに伴い外壁を覆っていたツタが全て伐採されました。しかし、永年にわたり親しまれてきたツタであるため、再生させる方法のひとつとして、2000年に全国加盟各校4170校にツタの苗が贈られ、全国の高校で育成されているツタを2009年3月に植樹する「ツタの里帰り」を実施する予定だそうです。

現在生育中の「ツタの里帰り」参加校は233校で、全参加校の植樹に先立ち2008年6月に代表6校(近畿2府4県各1校)のツタを記念植樹することになり、和歌山県からは、ツタを生育中の7校のうち、本校が選ばれました。このセレモニーには、主将、マネ

ージャーが参加します。

2000年の夏の抽選会で頂いたツタを、「本校野球部のベンチの壁を伝わそう」ということになり、部員達の熱心な手入れで、今ではベンチの壁を伝うようになりました。

本校のツタを持ち帰るため4月4日に阪神園芸の方が来校されました。当日、主将の桑畑優太君から本校で育ったツタを渡し、代わりになる甲子園のツタの苗を頂きました。また、本校のツタがひとあし先に甲子園に帰りましたが選手達は本校のツタが待つ甲子園に登場しようと、練習に励んでいます。



- 5月の行事予定 -
8日(木) 春季遠足
16日(金) ~ 20日(火)
1学期中間考査
19日(月) 育友会総会
20日(火) 総体壮行式